

令和2年4月1日

船橋市バスケットボール協会加盟団体各指導者 様

船橋市バスケットボール協会
会 長 鈴 木 武 司

体罰防止の徹底について（通知）

本協会では、バスケットボールを通して、児童・生徒の技術・体力の向上のみならず、思いやりの心や自主性、社会性など、心身の健全な育成を目指しております。

特にバスケットボールの入門期にあたる子どもたちには、バスケットボールの楽しさを十分に味合わせることが重要です。そのような時期に勝利至上主義のあまり、体罰等、子どもの人権を侵害するような卑劣な行為があってはならないことを以前よりお願いしてきました。

体罰は、「行き過ぎた指導」ではなく、明らかに「暴力行為」です。指導者が教育的指導の名の下に体罰を行うことは無力な子どもに与える制裁であり、教育効果は皆無です。体罰は、指導力の欠如によるものであるということを指導者一人一人が自覚しなければなりません。

このような状況の中、千葉県教育委員会は24年度、体罰根絶に向けた取り組みとして、体育・スポーツ関係団体と連携し、「体罰根絶宣言」（下記掲載）を出しました。本バスケットボール協会としても今回の宣言を重く受け止め、本協会加盟団体の皆様に周知徹底を図ってまいります。

教育活動の一環として行われている部活動や社会体育として行われている活動団体においても、顧問教諭、外部指導者やOB、後援会を含め、子どもたちの指導に関わるすべての関係者が体罰は決して許されるものではないという認識を持たなければ真の根絶には至りません。

つきましては、貴団体において、指導体制を再度確認するとともに、いつでも児童生徒が相談しやすい環境を整えるようお願い致します。

（参考）

体罰根絶宣言

スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神の涵養などのために行われるものであり、世界共通の人類の文化であります。

子どもたちにとって、体育・スポーツは、体力の向上や健康の増進にも極めて効果的な活動です。その過程において、体罰によって指導することは、決してあってはならないことです。

体罰は、法律で禁止されており、人権尊重の精神に反するとともに、子どもたちに力による解決への志向を助長するだけです。

私たちは、力を結集して、千葉県から体罰の根絶を宣言します。

「私たちは、体罰をしません。」

「私たちは、体罰をさせません。」

「私たちは、体罰を見過ごしません。」

平成25年3月12日

千葉県教育委員会、千葉県高等学校体育連盟、（一財）千葉県高等学校野球連盟
千葉県小中学校体育連盟、千葉県特別支援学校体育連盟、（公財）千葉県体育協会